



認定番号0006090

2016年度環境活動レポート

対象期間 2016年4月1日～2017年3月31日



北信越地区スバルグループ

新潟スバル自動車株式会社
スバル信州株式会社
北陸スバル自動車株式会社

2017年10月7日 改定

目次

1、北信越地区スバルグループ 会社概要	P2
2、エコアクション21対象範囲、推進体制、組織	P4
3、環境方針	P6
4、環境負荷の状況	P7
5、環境負荷低減に向けた取組み	P9
6、環境関連法規等の遵守状況について	P15
7、サイト推進責任者の評価、および最高責任者による全体の評価と見直し	P16



1、北信越地区スバルグループ 会社概要


信越・北陸地区の5県をカバーするスバル販売会社3社は、2009年4月新潟スバル自動車株式会社を統括会社とするグループ体制をスタートし、地域に密着した販売・アフターサービスをおこなっています。

私たちは、スバル車を通じてお客様に「安心とゆしさ」をご提供し、地域に愛されるNo.1企業を目指して従業員一同、取り組んでまいります。


●●○ 統括会社 新潟スバル自動車株式会社 ○●●	
会社名	新潟スバル自動車株式会社
所在地	〒950-1182 新潟県新潟市西区山田2307番地
代表取締役	山野 達也
設立日	1958年10月16日
事業内容	新車の販売／中古車の売買／自動車の整備／自動車保険業務 ／不動産賃貸業／事業会社への経営支援・助言・コンサルティング 経理・総務・人事・その他の管理業務の受託
事業規模	≪北信越地区スバルグループ全体≫ 売上高 43,665.3百万円 (2016年度) 新車販売台数 13,527台 (2016年度) 中古車販売台数 7,732台 (2016年度) 自社工場钣金塗装修理台数 2,272台 (2016年度) 従業員数 937人 (2017年4月現在) 店舗数 51店 (2017年4月現在) (内訳) <ul style="list-style-type: none"> 新車店舗 33店 (2017年4月現在) 中古車店舗 11店 (2017年4月現在) 钣金塗装センター 3店 (2017年4月現在) 部品センター 2店 (2017年4月現在) その他店舗 2店 (2017年4月現在)
	≪新潟スバル自動車(株)単体≫ 売上高 15,335.2百万円 (2016年度) 新車販売台数 4,730台 (2016年度) 中古車販売台数 2,905台 (2016年度) 自社工場钣金塗装修理台数 1,937台 (2016年度) 従業員数 356人 (2017年4月現在) 店舗数 19店 (2017年4月現在) (内訳) <ul style="list-style-type: none"> 新車店舗 11店 (2017年4月現在) 中古車店舗 4店 (2017年4月現在) 钣金塗装センター 2店 (2017年4月現在) 部品センター 1店 (2017年4月現在) その他店舗 1店 (2017年4月現在)
EA21責任者	≪環境保全における責任者≫ 最高責任者 代表取締役 山野 達也 環境管理責任者 常務取締役統括本部長 岡崎 浩一 EA21事務局長 総務統括部部長 高橋 好明
	≪環境保全における担当者 連絡先≫ EA21統括事務局 人事総務課 植村有子 連絡先 TEL:025-266-9131 FAX:025-231-7981



●●○ 事業会社 スバル信州株式会社 ○●●

会社名	スバル信州株式会社		
所在地	〒380-0926 長野県長野市若里4-14-28		
代表取締役	阿部欣也		
設立日	2006年6月29日		
事業規模	売上高	12,749.2百万円 (2016年度)	
	新車販売台数	4,223台 (2016年度)	
	中古車販売台数	2,237台 (2016年度)	
	自社工場钣金塗装修理台数	335台 (2016年度)	
	従業員数	279人 (2017年4月現在)	
	店舗数	16店 (2017年4月現在)	
	(内訳)		
	新車店舗	10店 (2017年4月現在)	
	中古車店舗	3店 (2017年4月現在)	
	钣金塗装センター	1店 (2017年4月現在)	
	部品センター	1店 (2017年4月現在)	
	その他店舗	1店 (2017年4月現在)	
EA21責任者	≪環境保全における責任者≫ 推進責任者 代表取締役 阿部 欣也 ≪環境保全における担当者 連絡先≫ 実行責任者 営業支援部部長 島田 実也 連絡先 TEL:026-226-7771 FAX:026-224-3888		

●●○ 事業会社 北陸スバル自動車株式会社 ○●●

会社名	北陸スバル自動車株式会社		
所在地	〒921-8539 石川県金沢市泉本町3丁目102番地		
代表取締役	太田 士郎		
設立日	1959年7月8日		
事業規模	売上高	15,580.9百万円 (2016年度)	
	新車販売台数	4,574台 (2016年度)	
	中古車販売台数	2,590台 (2016年度)	
	自社工場钣金塗装修理台数	—	
	従業員数	302人 (2017年4月現在)	
	店舗数	15店 (2017年4月現在)	
	(内訳)		
	新車店舗	12店 (2017年4月現在)	
	中古車店舗	3店 (2017年4月現在)	
	钣金塗装センター	—	
	部品センター	—	
	その他店舗	—	
EA21責任者	≪環境保全における責任者≫ 推進責任者 代表取締役 太田 士郎 ≪環境保全における担当者 連絡先≫ 実行責任者 サービス部品部部長 新元 雄二 連絡先 TEL:076-241-5121 FAX:076-241-8453		

2. エコアクション21対象範囲、推進体制・組織

対象範囲: 全店舗・全部門
対象活動: 全事業内容

■新潟スバル自動車株式会社■

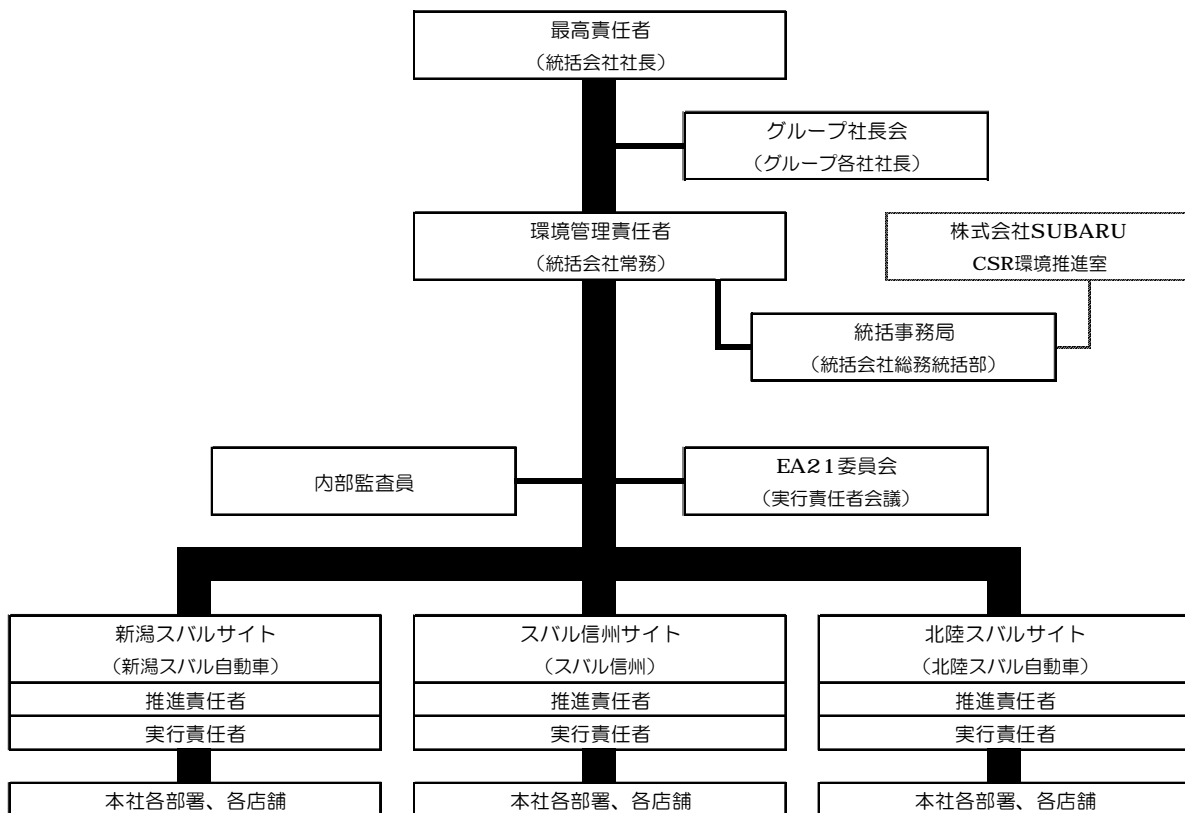
店舗名	所在地		TEL
本社	〒950-1182	新潟県新潟市西区山田2307	025-266-9131
本社黒埼店	〒950-1182	新潟県新潟市西区山田2307	025-266-9177
新潟海老ヶ瀬店	〒950-0813	新潟県新潟市東区大形本町5-18-18	025-271-5881
上越藤巻店	〒943-0817	新潟県上越市藤巻9-15	025-524-4137
長岡市役所通店	〒940-1151	新潟県長岡市三和1-7-5	0258-36-2745
三条店	〒955-0832	新潟県三条市直江町1-11-43	0256-32-4851
新発田店	〒957-0000	新潟県新発田市富塚1359	0254-32-5505
六日町店	〒949-6608	新潟県南魚沼市美佐島169	025-772-3226
佐渡佐和田店	〒952-1307	新潟県佐渡市東大通871	0259-52-3156
新潟昭和橋店	〒950-0908	新潟県新潟市中央区幸西2-4-12	025-247-7211
長岡下々条店	〒940-0012	新潟県長岡市下々条1-478-1	0258-24-2512
亀田店	〒950-0148	新潟県新潟市江南区東早通2-2-6	025-382-9300
G-PARK亀田	〒950-0150	新潟県新潟市江南区下早通柳田2-2-1	025-383-3811
カースポット上越	〒943-0817	新潟県上越市藤巻9-15	025-524-4137
カースポット長岡	〒940-1146	新潟県長岡市下条町字野々入807	0258-22-0911
カースポット新発田	〒957-0063	新潟県新発田市新栄町3-3-22	0254-32-5100
中古車卸センター	〒950-3304	新潟県新潟市北区木崎字尾山前802-5	025-386-3455
豊栄部品センター	〒950-3304	新潟県新潟市北区木崎字尾山前802-5	025-386-2944
豊栄钣金塗装センター	〒950-3304	新潟県新潟市北区木崎字尾山前802-5	025-388-7000
長岡钣金塗装センター	〒940-1151	新潟県長岡市三和1-6-8	0258-88-0500

■スバル信州株式会社■

店舗名	所在地		TEL
本社	〒380-0928	長野県長野市若里4-14-28	026-226-7771
長野若里店	〒380-0928	長野県長野市若里4-14-28	026-226-3188
稲田店	〒381-0042	長野市稲田1-13-28	026-259-3355
中野店	〒383-0015	長野県中野市吉田87-1	0269-22-7411
千曲店	〒387-0012	長野県千曲市桜堂569-1	026-272-4613
上田店	〒386-0015	長野県上田市常入1122-12	0268-27-2115
小諸店	〒384-0055	長野県小諸市柏木201	0267-23-1717
松本村井店	〒399-0035	長野県松本市村井町北2-8-40	0263-58-2242
松本インター店	〒390-0852	長野県松本市島立304-8	0263-40-2000
諏訪店	〒392-0012	長野県諏訪市四賀941-1	0266-52-0533
伊那店	〒399-4431	長野県伊那市西春近2438-1	0265-72-6135
カースポット長野	〒381-2205	長野県長野市青木島町大塚325	026-254-6366
カースポット上田	〒386-0015	長野県上田市常入1122-12	0268-27-2115
カースポット佐久	〒385-0051	長野県佐久市中込3639-5	0267-64-8633
G-PARK松本	〒399-0035	長野県松本市村井町北2-8-40	0263-58-2242
長野テクニカルセンター	〒381-2207	長野県長野市大橋南大通り800	026-283-3155
部品センター	〒386-0015	長野県上田市常入1122-12	0268-22-3948
長野钣金センター	〒381-2207	長野県長野市大橋南大通り800	026-284-1060

■北陸スバル自動車株式会社■

店舗名	所在地		TEL
本社	〒921-8539	石川県金沢市泉本町3-102	076-241-5121
金沢本店	〒921-8539	石川県金沢市泉本町3-102	076-241-5122
SWING金沢西	〒920-8201	石川県金沢市鞍月東1-60	076-239-1601
白山店	〒924-0032	石川県白山市村井町1624-1	076-277-4181
小松店	〒923-0964	石川県小松市今江町4-25	0761-23-1236
羽咋店	〒925-0044	石川県羽咋市新保町下137-2	0767-22-2117
G-PARK金沢	〒920-8201	石川県金沢市鞍月東1-60	076-239-1666
富山新店	〒930-0996	富山県富山市新庄本町3-3-17	076-451-8516
富山インター店	〒939-8214	富山県富山市黒崎字寺田割360-1	076-494-8333
高岡店	〒933-0838	富山県高岡市北島378-1	0766-23-2292
魚津店	〒937-0041	富山県魚津市吉島字四十田4181	0765-24-5021
砺波店	〒939-1328	富山県砺波市大辻625	0763-33-3231
カースポットとやま	〒930-0996	富山県富山市新庄本町2-9-89	076-452-1667
福井開発店	〒910-0843	福井県福井市西開発4-201	0776-54-3456
福井ハーモニーホール前店	〒918-8152	福井県福井市今市町38-3	0776-38-3550
カースポットふくい	〒918-8152	福井県福井市今市町38-3	0776-38-7756



3. 環境方針



北信越地区スバルグループ 環境方針



基本理念

恵まれた自然環境を次世代に残すことが私たちの果す役割であることを常に考え、環境と調和のとれた企業活動で地域社会に貢献します。

また、スバル車を通じてお客様に「安心と愉しさ」を提供し、地域に愛されるNo.1企業を目指します。



基本方針

自動車および部品の販売、整備・修理・保険業務に関する事業活動で環境との関わり合いを考え、環境保全につながる以下の活動を積極的に推進します。

1. 事業活動の全領域で、省資源、省エネルギー（CO₂削減を含む）、リサイクル、公害防止に配慮した活動をおこないます。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスが継続的に改善できるように推進します。
3. 適用する環境関連の法規制や条例、当グループが同意するその他の要求事項を遵守します。
4. 特に次の環境保全の重要項目にたいして、環境目標を設定して取組み、必要があれば見直しをおこないます。
 - ① 省資源・省エネルギーを推進する（水使用量、紙使用量、電気使用量、燃料使用量）
 - ② 廃棄物の排出を抑制し、また適正に処理する（一般廃棄物および産業廃棄物排出量の削減）
 - ③ 化学物質の管理を強化する（PRTR法関連、VOC対策）
 - ④ エコマーク商品など環境に配慮した商品の購入をすすめる
 - ⑤ 拠点周辺の美化を積極的におこない、地域の環境保全に貢献する
 - ⑥ お客様のお車の点検整備をサポートし、公害防止と省エネルギーを推進する（点検パックの訴求）
5. この環境方針をグループの全社員に周知し、環境活動を推進します。

2017年4月1日

北信越地区スバルグループ

統括会社 新潟スバル自動車株式会社

代表取締役 山野 達也

4. 環境負荷の状況

●2014年度～16年度のグループ3社合計の環境負荷推移●

		単位	2014年度	2015年度	2016年度
電気使用量		kwh	4,627,993.0	4,477,057.0	4,522,350.3
燃料 使用量	ガソリン	L	822,642.6	785,793.3	765,732.5
	軽油	L	152,107.0	138,639.0	133,804.4
	灯油	L	117,907.8	106,607.1	127,582.1
	LPG	kg	18,293.4	12,446.5	14,048.6
	都市ガス	m ³	70,544.0	64,934.0	72,819.0
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	5,520,527.0	5,250,979.0	5,169,599.1
水使用量		m ³	33,864.0	31,736.0	30,127.0
事業系一般廃棄物排出量		t	117.2	117.4	109.0
産業廃棄物排出量		t	297.1	344.6	346.8
化学物質 使用量	トルエン	kg	750.0	698.8	445.1
	キシレン	kg	198.1	106.3	73.5

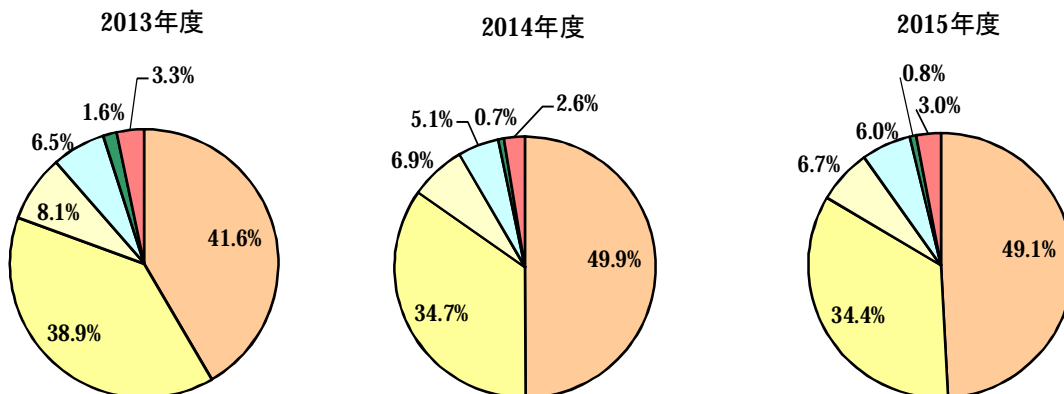
電力CO₂ 実排出係数 (2013年度値)

新潟スバル	東北電力	0.591 (kg-CO ₂ /Kwh)
スバル信州	中部電力	0.513 (kg-CO ₂ /Kwh)
北陸スバル	北陸電力	0.630 (kg-CO ₂ /Kwh)

●2014年度～16年度の二酸化炭素排出量(詳細)推移●

	単位	2014年度	2015年度	2016年度
電気使用	kg-CO ₂	2,713,984.0	2,622,863.0	2,539,504.7
ガソリン使用	kg-CO ₂	1,909,896.0	1,824,348.0	1,777,770.3
軽油使用	kg-CO ₂	399,179.0	363,837.0	345,743.7
灯油使用	kg-CO ₂	293,817.0	265,656.0	310,873.4
LPG使用	kg-CO ₂	54,915.0	37,367.0	42,173.3
都市ガス使用	kg-CO ₂	148,736.0	136,908.0	153,533.7

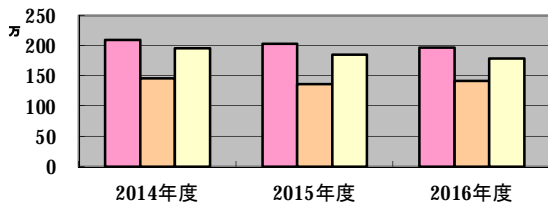
●2014年度～16年度の二酸化炭素排出量の各エネルギー割合●



●2014年度～16年度の各社環境負荷推移●

二酸化炭素排出量

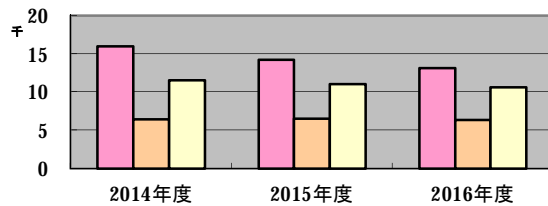
二酸化炭素排出量の推移



単位 (kg-CO2)	2014年度	2015年度	2016年度
新潟スバル	2,100,155.0	2,034,712.0	1,966,424.8
スバル信州	1,459,409.0	1,368,485.0	1,415,677.4
北陸スバル	1,960,963.0	1,847,782.0	1,787,496.9

水使用量

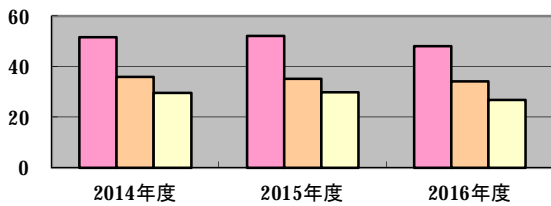
水使用量の推移



単位 (m³)	2014年度	2015年度	2016年度
新潟スバル	15,950.0	14,177.0	13,155.0
スバル信州	6,421.0	6,536.0	6,325.0
北陸スバル	11,493.4	11,023.0	10,647.0

事業系一般廃棄物排出量

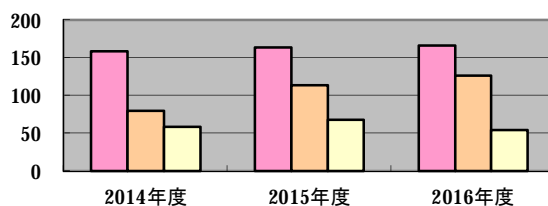
事業系一般廃棄物排出量の推移



単位 (t)	2014年度	2015年度	2016年度
新潟スバル	51.64	52.21	48.22
スバル信州	35.93	35.22	34.11
北陸スバル	29.66	29.92	26.68

産業廃棄物排出量

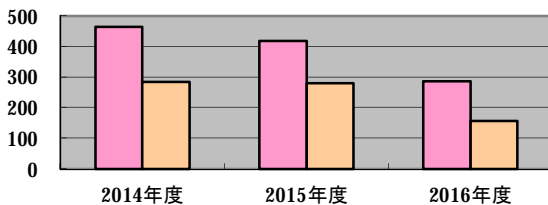
産業廃棄物排出量の推移



単位 (t)	2014年度	2015年度	2016年度
新潟スバル	158.62	163.52	165.74
スバル信州	80.03	113.40	126.47
北陸スバル	58.43	67.65	54.63

トルエン使用量

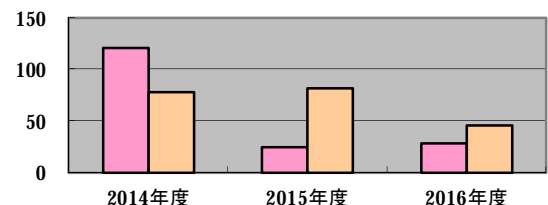
トルエン使用量の推移



単位 (kg)	2014年度	2015年度	2016年度
新潟スバル	465.0	417.8	287.1
スバル信州	285.0	281.0	158.0

キシレン使用量

キシレン使用量の推移



単位 (kg)	2014年度	2015年度	2016年度
新潟スバル	120.5	24.6	28.0
スバル信州	77.6	81.7	45.5

5. 環境負荷低減に向けた取組み

●2017年度から2019年度のグループ中期目標●

2015年度の実績を基準とし、毎年1%の改善を目標として設定しました。

項目	単位	目標値		
		2017年度	2018年度	2019年度
電気使用量の削減	kWh	基準年から2%削減 4,301,634.6	基準年から3%削減 4,258,618.1	基準年から4%削減 4,215,601.7
ガソリン使用量の削減	L	基準年から2%削減 736,054.5	基準年から3%削減 728,693.8	基準年から4%削減 721,333.2
軽油使用量の削減	L	基準年から2%削減 135,865.0	基準年から3%削減 134,506.2	基準年から4%削減 133,147.6
灯油使用量の削減	L	基準年から2%削減 105,408.1	基準年から3%削減 104,353.9	基準年から4%削減 103,299.8
LPG使用量の削減	kg	基準年から2%削減 12,155.4	基準年から3%削減 12,033.7	基準年から4%削減 11,912.2
都市ガス使用量の削減	Nm3	基準年から2%削減 63,471.2	基準年から3%削減 62,836.4	基準年から4%削減 62,201.7
二酸化炭素排出量の削減	CO2-kg	基準年から2%削減 5,240,900.0	基準年から3%削減 5,188,491.0	基準年から4%削減 5,136,082.0
水使用量の削減	m3	基準年から2%削減 29,086.5	基準年から3%削減 28,795.5	基準年から4%削減 28,504.7
OA紙使用量の削減	kg	基準年から2%削減 31,320.8	基準年から3%削減 31,007.4	基準年から4%削減 30,694.2
PRTR対象化学物質 ／トルエン使用量の削減(原単位)	g/台	基準年から2%削減 267.8	基準年から3%削減 265.1	基準年から4%削減 262.4
PRTR対象化学物質 ／キシレン使用量の削減(原単位)	g/台	基準年から2%削減 44.1	基準年から3%削減 43.7	基準年から4%削減 43.2
事業系一般廃棄物 ／単純焼却・最終処分排出量の削減	kg	基準年から2%削減 116,212.0	基準年から3%削減 115,049.7	基準年から4%削減 113,887.6
産業廃棄物 ／単純焼却・最終処分排出量の削減	kg	基準年から2%削減 337,703.5	基準年から3%削減 334,326.3	基準年から4%削減 330,949.3
新車時車検付点検パック付保率の向上 (登録車+軽乗用)	%	基準年から2%向上 86.7	基準年から3%向上 87.7	基準年から4%向上 88.7
車検時点検パック付保率の向上 (登録車+軽乗用)	%	基準年から2%向上 42.7	基準年から3%向上 43.7	基準年から4%向上 44.7
グリーン購入の促進 (カウネット グリーン購入率の向上)	%	基準年から2%向上 34.4	基準年から3%向上 35.4	基準年から4%向上 36.4
サービス工場5S活動の継続 (産業廃棄物保管場所)	—	毎月1回の 確認・清掃	毎月1回の 確認・清掃	毎月1回の 確認・清掃
サービス工場5S活動の継続 (油脂保管場所)	—	毎月1回の 確認・清掃	毎月1回の 確認・清掃	毎月1回の 確認・清掃
周辺美化活動(クリーン活動)の継続	—	毎月1回の 周辺清掃実施	毎月1回の 周辺清掃実施	毎月1回の 周辺清掃実施

1、電力使用量の削減

- ① 業務の効率化による残業時間の削減
- ② 整備入庫の平準化による夜間作業の削減
- ③ クールビズ期間の延長
- ④ 季節に応じた広告塔点灯時間の調整
- ⑤ 季節に応じた適正室温管理(夏:28℃ 冬:22℃)
- ⑥ 既存設備を入れ替え時の、省エネ商品選定

2、ガソリン・軽油使用量の削減

- ① アイドリングストップ、エコドライブの実践
- ② 社用車・営業車・セルフローダーの運行管理の徹底
- ③ 電話連絡やDM発送の有効活用
- ④ 店舗での納車促進

3、灯油使用量の削減

- ① 業務の効率化による残業時間の削減
- ② 整備入庫の平準化による夜間作業の削減
- ③ 工場用ヒーター、温水洗車機の適正使用

4、LPガス・都市ガス使用量の削減

- ① 業務の効率化による残業時間の削減
- ② 季節に応じた適正室温管理(夏:28℃ 冬:22℃)
- ③ 既存設備を入れ替える際には、省エネ商品の選定
- ④ 給湯器の温度設定と夏季利用の削減

5、水使用量の削減

- ① 洗車時には、水使用抑制
- ② 洗車機入替時の節水タイプ検討
- ③ 前年使用量との比較による漏れ確認

6、紙使用量の維持

- ① 両面コピー、集約コピーの活用
- ② 社内書類の裏紙使用
- ③ テレビ会議の活用による会議資料の削減
- ④ E-mailやイントラネットを活用した情報共有

7、化学物質使用量の削減

- ① 環境対応品への品替
- ② 適正な在庫管理
- ③ 作業品質の精度向上と生産性改善への取り組み

8、その他

- ① 点検パック付保率の向上
- ② グリーン購入の促進
- ③ 店舗周辺美化活動
- ④ サービス工場5S活動

啓蒙ツールの活用

目立つ場所に貼り、常に意識付けを図っています。



安全で快適なカーライフをお楽しみいただくための点検・メンテナンスをお得なパックをご用意いたしました。
 新車ご購入時に最長5年間、1年に1度のエンジンオイル・フィルター交換や初回車検付き、更にはアイサイト診断など、お客様に合ったタイプをお選び頂けます。また、車検時にご加入頂くタイプもご用意しております。

上記は、全店舗の取組みを要約したものです。
 2017年度は2016年度の環境活動計画を継続し、目標達成へ向けて取組みます。

●2016年度環境目標と実績、評価、環境活動計画の取組み●

<目標達成の評価基準>

- 〔◎〕 目標を大幅に達成（5%以上削減、若しくは5%以上向上）できたもの
- 〔○〕 目標を達成できたもの
- 〔△〕 一部実施できなかったもの・・・周辺美化活動・工場の5S活動に適用
- 〔×〕 目標を達成できなかったもの

※施設や設備の大きな変更により、2016年度は目標値の基準となる実績収集とした店舗があります。

その為、下記の実績とP7～P8の実績に異なります。

二酸化炭素排出量削減

	グループ		新潟スバルサイト		スバル信州サイト		北陸スバルサイト	
	(kg-CO ₂)	評価	(kg-CO ₂)	評価	(kg-CO ₂)	評価	(kg-CO ₂)	評価
目標	5,100,477.5	×	1,976,192.6	○	1,354,793.9	×	1,769,491.0	×
実績	5,169,599.1		1,966,424.8		1,415,677.4		1,787,496.9	

電気使用量削減

スタッフの節電意識は定着しており、行動は出ています。しかし、2016年度は店舗の建替えが重なり、設備の変更による環境負荷の増減がありました。2017年度以降は新しい設備に合わせた目標値の設定を予定しております。

	グループ		新潟スバルサイト		スバル信州サイト		北陸スバルサイト	
	(kwh)	評価	(kwh)	評価	(kwh)	評価	(kwh)	評価
目標	4,374,740.7	×	1,381,579.0	○	1,192,982.0	×	1,718,320.6	×
実績	4,343,091.3		1,381,219.0		1,220,301.0		1,741,571.3	

燃料使用量削減

お客様との信頼関係構築の為、活発な訪問活動を行い、自動車の使用頻度が増加しました。引き続き、エコドライブを意識して燃費向上に努めてまいります。また、エアバックの市場措置(リコール対応)による整備入庫台数の増加に伴い、工場の稼働時間が長くなり冬場の暖房で使用する灯油使用が増加しました。引き続き、お客様に安心して愛車にお乗り頂ける様に整備を進めて参ります。

ガソリン使用量

	グループ		新潟スバルサイト		スバル信州サイト		北陸スバルサイト	
	(L)	評価	(L)	評価	(L)	評価	(L)	評価
目標	758,718.8	×	328,902.8	○	199,799.5	×	249,426.5	×
実績	765,732.5		313,661.0		200,602.0		251,469.5	

軽油使用量

	グループ		新潟スバルサイト		スバル信州サイト		北陸スバルサイト	
	(L)	評価	(L)	評価	(L)	評価	(L)	評価
目標	133,989.4	◎	43,005.6	×	58,394.6	○	32,589.2	◎
実績	131,745.4		44,513.3		57,549.7		29,682.4	

灯油使用量

	グループ		新潟スバルサイト		スバル信州サイト		北陸スバルサイト	
	(L)	評価	(L)	評価	(L)	評価	(L)	評価
目標	103,895.7	×	67,722.0	×	30,949.6	×	5,224.1	◎
実績	124,752.1		71,364.5		50,186.3		3,201.3	

LPG使用量

	グループ		新潟スバルサイト		スバル信州サイト		北陸スバルサイト	
	(kg)	評価	(kg)	評価	(kg)	評価	(kg)	評価
目標	12,279.4		3,767.5		5,406.4		3,105.5	
実績	14,048.6	×	3,845.6	×	3,338.7	◎	6,864.3	×

都市ガス使用量

	グループ		新潟スバルサイト		スバル信州サイト		北陸スバルサイト	
	(m³)	評価	(m³)	評価	(m³)	評価	(m³)	評価
目標	64,254.6		48,922.5		15,332.1			
実績	72,819.0	×	54,881.0	×	17,938.0	×		

水使用量削減

日常業務の中で洗車を行う事が多い為、バケツの活用やホースにストッパー付きのノズルを設置するなどして最低限の水使用で洗車を行っております。一部、洗車機の導入により水使用量が増えておりますが今後も節水に努めます。

	グループ		新潟スバルサイト		スバル信州サイト		北陸スバルサイト	
	(m³)	評価	(m³)	評価	(m³)	評価	(m³)	評価
目標	30,438.3		13,505.6		6,470.0		10,462.7	
実績	29,392.0	◎	12,420.0	◎	6,325.0	○	10,647.0	×

紙使用量削減

2016年度は、iPadを活用して新車の商談時に見積もりの作成が可能となりました。グレードやオプションの変更も画面上でお客様と確認を進める事が出来る為、紙の出力が減りました。今後もiPadの活用を進めて更に紙使用量の削減に努めます。

	グループ		新潟スバルサイト		スバル信州サイト		北陸スバルサイト	
	(kg)	評価	(kg)	評価	(kg)	評価	(kg)	評価
目標	31,469.9		14,766.3		8,722.9		7,980.7	
実績	31,361.4	○	14,748.3	○	8,526.0	○	8,087.1	×

廃棄物排出量削減

2016年度は整備の売り上げが増加し、産業廃棄物も多く排出されました。引き続き、お客様に安心してカーライフをお過ごし頂ける様に技術の向上に努めます。

事業系一般廃棄物

	グループ		新潟スバルサイト		スバル信州サイト		北陸スバルサイト	
	(kg)	評価	(kg)	評価	(kg)	評価	(kg)	評価
目標	116,212.0		51,701.1		34,882.0		29,628.9	
実績	109,031.3	◎	48,228.6	◎	34,121.0	○	26,681.7	◎

産業廃棄物

	グループ		新潟スバルサイト		スバル信州サイト		北陸スバルサイト	
	(kg)	評価	(kg)	評価	(kg)	評価	(kg)	評価
目標	341,148.8		161,895.7		112,273.6		66,979.5	
実績	346,857.7	×	165,752.5	×	126,473.7	×	54,631.5	◎

化学物質使用量削減

市場措置(リコール)の対応として、一部の钣金塗装工場が数か月に渡り止まっておりました。稼働した際には、しばらく使用していない溶剤の使用には十分注意してまいります。

化学物質／トルエン使用量削減

	グループ		新潟スバルサイト		スバル信州サイト		北陸スバルサイト	
	(g/台)	評価	(g/台)	評価	(g/台)	評価	(g/台)	評価
目標	267.8	◎	197.9	◎	587.7	◎		
実績	195.9	◎	148.2	◎	471.6	◎		

化学物質／キシレン使用量削減

	グループ		新潟スバルサイト		スバル信州サイト		北陸スバルサイト	
	(g/台)	評価	(g/台)	評価	(g/台)	評価	(g/台)	評価
目標	44.1	◎	13.3	×	185.3	◎		
実績	32.3	◎	14.5	×	135.8	◎		

点検パック付保率向上

お車の定期点検を受けて頂き、良好な状態でお乗り頂く事で燃費の向上にも繋がります。お客様の安心感と、環境負荷の低減につながる取り組みとして今後もお客様へ加入をお勧めして参ります。

新車時

	グループ		新潟スバルサイト		スバル信州サイト		北陸スバルサイト	
	(%)	評価	(%)	評価	(%)	評価	(%)	評価
目標	86.7	○	89.0	○	90.9	×	83.4	○
実績	89.0	○	91.5	○	88.4	×	87.1	○

車検時

	グループ		新潟スバルサイト		スバル信州サイト		北陸スバルサイト	
	(%)	評価	(%)	評価	(%)	評価	(%)	評価
目標	42.7	◎	37.2	◎	43.9	○	47.6	○
実績	45.9	◎	43.3	◎	44.3	○	49.5	○

グリーン購入促進

	グループ		新潟スバルサイト		スバル信州サイト		北陸スバルサイト	
		評価		評価		評価		評価
目標	34.4	×	35.1	×	33.6	×	34.1	×
実績	33.4	×	33.6	×	32.4	×	33.8	×

地域貢献／店舗周辺美化活動

	グループ		新潟スバルサイト		スバル信州サイト		北陸スバルサイト	
		評価		評価		評価		評価
目標	全店月1回	◎	全店月1回	◎	全店月1回	◎	全店月1回	◎
実績	全店実施	◎	全店実施	◎	全店実施	◎	全店実施	◎

サービス工場5S活動

	グループ		新潟スバルサイト		スバル信州サイト		北陸スバルサイト	
		評価		評価		評価		評価
目標	月1回チェック	◎	月1回チェック	◎	月1回チェック	◎	月1回チェック	◎
実績	全店実施	◎	全店実施	◎	全店実施	◎	全店実施	◎

お客様へ安心と安全をご提供するために、スキルアップを図っています

カーライフアドバイザー



お車の商談時に、お客様が安心してお車選びが出来る様に、各店舗では日頃から勉強会を行いスキルアップを図っております。

また、日々の努力の成果を披露する場として『全国スバルセールスコンテスト』が毎年開催されております。全国の各スバルディーラーで予選会を勝ち抜いたカーライフアドバイザーが勉強の成果を競い合います。



テクニカルアドバイザー

お車の整備を行う際には、問診と原因の特定が大切になります。そのため、テクニカルアドバイザーは技術はもちろん、お客様対応のスキルアップを図り高いレベルの整備を行える様に努力しております。

若手社員を中心に、定期的な勉強会を行い『全国技術コンクール』への出場を目指してスキルアップを図ります。



工場管理



自動車整備工場や钣金塗装工場では、適応する環境関連法令が複数あります。工場を管理する上では法令への理解が必要不可欠です。工場責任者は、勉強会を行い理解を深めています。

また、日頃から適正な管理を行うために、他の店舗の工場がどの様に維持をしているか等、情報の横展開を行っています。

6、環境関連法規等の遵守状況について

●環境に関する主な遵守事項●

法規等の名称	主な遵守事項	遵守状況
水質汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特定施設の届出 ■ 油脂流出時の応急処置・通知 	○
下水道法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特定施設の届出 ■ 油脂流出時の応急処置・通知 	○
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設置の届出 ■ 定期清掃、点検、検査実施 	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ■ 委託契約の書面締結 ■ マニフェスト管理 ■ 保管基準の遵守 	○
家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 家電リサイクル券控への管理 	○
小型家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小型家電の適正な処分 	○
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 引取業者登録 ■ 使用済み自動車適正処理 	○
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務用エアコンの簡易点検及び定期点検 ■ 点検記録の保存 	○
PCB廃棄物特措法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2022年3月31日までに処分 ■ 保管状況の届出 	○
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特定施設の届出 ■ 指定地域における規制基準遵守 	○
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特定施設の届出 ■ 指定地域における規制基準遵守 	○
悪臭防止法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 指定地域における規制基準遵守 	○
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR法)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特定化学物質の排出量・移動量の把握 ■ 年間取扱い量1t異常の場合は行政へ届出 	○
消防法、火災予防条例	<ul style="list-style-type: none"> ■ 危険物施設の許可申請、少量危険物施設の届出 ■ 消防活動阻害物質貯蔵の届出 	○
県、市町村公害防止条例等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特定施設の届出 ■ 規制基準の遵守 	○

●違反や訴訟について●

自己評価により、環境関連法令等の遵守状況を確認いたしました。
関係当局から違反等の指摘は過去5年間ありません。



7、サイト推進責任者の評価、および最高責任者による全体の評価と見直し

新潟スバル自動車(株) サイト推進責任者の評価

当サイトにおいては、燃料(灯油・LPG・都市ガス)・産業廃棄物・化学物質(キシレン)の使用量の削減、グリーン購入が目標未達となり、環境に負荷を与えてしまいました。燃料の使用量および産業廃棄物の排出量の増加については、エアバッグの市場措置(リコール対応)等の整備在庫台数の増加によるものです。今年度も、整備在庫台数の増加が見込まれますが、効率化・生産性向上を進め、環境負荷の低減に取り組んでまいります。

スバル信州(株) サイト推進責任者の評価

活動自体が形骸化傾向にあり、結果管理となっている為、中間進捗の確認と促進を全社で共有するよう進めて参ります。また、目的と手段を見間違えないように、今一度、基本に立ち返り、『何の為の活動』なのかを再度確認し、進捗の図れていない活動項目については、どこに課題があるかを把握し、より実質的な活動として根付かせていきたいと考えます。

北陸スバル自動車(株) サイト推進責任者の評価

環境活動への取組み意識は、全店全社員で共有されているが、まだまだ十分なレベルとは言えません。企業活動を続けていく上で環境活動等のCSRの重要性は年々更に高まっているので、定期的な全店全社員への意識向上と継続的な取組み強化を会社として推進することが肝要です。

最高責任者の全体の評価と見直し

2016年度の環境活動は、グループ各社の意識レベルは全体的に上がってきているものの、個人や店舗ごとに格差があったために十分な成果を出せなかったと考えます。

今一度、環境活動の重要性をグループ内で確認し、改善を図るべく今後も取り組んでまいります。

○マネジメントレビューの結果○

1. 環境マネジメントシステムは有効に機能している
2. 2017年度環境方針・活動計画は変更の必要なし
3. 社員一人ひとりがエコアクションに取り組む項目として、温度調整や消灯による省エネ、エコドライブの推進に取り組むこと。
4. 環境への配慮を踏まえて、冷暖房機器は都市ガス、電気のいずれが有効か調査するように。
5. 本業への取り組みがそのまま環境配慮となる活動をいくつか検討するように。

